

橋ときわっ子

学校だより 第6号
平成27年6月4日
武雄市立橋小学校
校長 稲富博茂



学校教育目標「自ら学ぶ力を身につけ、豊かな心をもって未来を拓くときわっ子の育成」

やればできる 磨けば光る 一歩でも前進 続けて 続けて

6月になると、すぐ梅雨入りしました。これから、曇や雨の日が多くなりますが、植物にとっては恵みの雨です。校庭の木々の緑が、雨に打たれていっそう深まったように感じられます。

1日から水泳の授業が始まりました。プールからは子どもたちの歓声があがっています。子どもたちが泳ぐ目標や課題をもち、楽しく元気に、プールのきまりを守って安全に学習できて、たくさん泳げるようになってほしいです。



田んぼの学校開校式・種まき 5/30(土)

5年生が取り組む「田んぼの学校」の開校式を行いました。開校式には、区長会、JA武雄支所、育友会、保護者など多くの方に参加をしていただきました。

開校式では、一人一人が田んぼの学校での「めあて」を発表したり、田んぼの学校の歌を合唱したりしました。開校式終了後はJA職員の方に指導をしていただき、「種まき」を行いました。地域や育友会、保護者の方の協力も受けて、子どもたちは熱心に取り組みました。

田んぼの学校は、米づくりを通して、農業や自然環境の大切さ、地域の歴史や文化を学ぶことを目的として、5年生を対象に取り組んでいるもので、今年で15回目となります。6月26日(金)には、田植えを予定しています。

開校式・種まきには、たくさんの方が来校されて、ご支援・ご協力を来ていただき、ありがとうございました。特に、種まきに関しては、準備から後片付けまで、たいへんお世話になりました。重ねてお礼を申し上げます。



授業参観～ふれあい道徳～ 5/30(土)

土曜開校日の授業参観は、全学級で一斉に道徳の授業を行う『ふれあい道徳』を実施しました。お忙しい中に、たくさんの方においでいただき、ありがとうございました。子どもたちにとって、命や家族、友だちのことを考えたり、これまでの自分の行動を振り返ったりするなど、心を培う時間になったことだと思います。



【4年:お母さんのせいきゅう書】

芋さし 6/2(火)

老人会の多くの方にご協力を来ていただき、全校児童で「芋さし」を行いました。植え方を丁寧に説明していただいた後、芋の苗を1人1苗ずつ植えました。雨が降り、天候が心配されましたが、無事に終えることができました。ご協力、ありがとうございました。

秋には、おいしい芋を、たくさん収穫できることをみんな楽しみにしています。

